

あなたが あなたの道を ために

参画2023

広島大学男女共同参画宣言

基本方針

- 1 教育・研究・就業の場における男女平等の推進
- 2 性別に基づく差別や排除を助長する制度・慣行の見直し・改善
- 3 大学運営における意思決定への男女共同参画の推進
- 4 家庭生活と教育・研究・就業とを両立させるための男女への支援
- 5 地域社会・国際社会との連携を通じた男女共同参画の推進
- 6 男女共同参画の啓発活動と教育研究の推進

平成18(2006)年10月17日 広島大学

これまで男女について述べてきました。しかし、人は男女にきっちり二分されるわけではありません。身体の性的特徴(sex characteristics)が男女どちらかに収まりがたい人もいます。自分がどんな性別だと感じるか(性自認 = gender identity)が曖昧な人もいます。さらに、だれを好きになるか(性的指向 = sexual orientation)という点でも、同性を好きになる人、男女両方好きになる人、性にこだわらず好きになる人、そもそも性的な意味で人を好きにならない人もいます。また、性的にどんな見かけとふるまいを選ぶか(性表現 = gender expression)も、ひとそれぞれ、時と場合によります。

性を構成するこれらの4つの要素は、「ジョクジャカルタ原則+10」(2017年発表)で、一人一人の尊厳と人間性に不可欠とされています。広島大学では、

広島大学の性の多様性についての基本理念

1. 性の多様性を尊重します

広島大学は、一人ひとりの性自認、性的指向、性表現、身体の性的特徴等の多様性を尊重します。

2. 性のありようによって差別しません

広島大学は、性の多様性と平等を基礎とし、性のありようを理由にした差別をしません。

3. 性に関する本人の意思を尊重します

広島大学は、本人がどのような性でありたいかという意思を尊重します。性のありようは、開示か非開示かを含め、本人の意思でコントロールできなければなりません。

4. 性に関するインクルーシブな環境を構築します

広島大学は、すべての構成員にとってインクルーシブな環境を作ります。インクルーシブな環境とは、一人ひとりのありようが尊重され、それゆえに一人ひとりが安心して自分らしくあることができ、自分らしさを発揮して、新たな知の生産に心おきなく携わる環境を意味します。とりわけ性は、自分らしさを構築する重要な一要素です。広島大学は、性のありようにかかわらず、すべての構成員が安心して自由に活動できる環境を作ります。



性の多様性についてのパンフレット

